

# 在宅医療連携拠点事業 ～チームもりおかの取り組み～

平成25年2月2日（土）  
北海道・北東北ブロック活動発表会

医療法人葵会チームもりおか  
©井川 斉 板垣 園子 木村 幸博

## 盛岡市の概要



岩手県盛岡市 886.47km<sup>2</sup>

人口 29万5千人

(65歳以上人口 約6万6千人)

高齢化率 22.6%

### ●医療資源

病院 29

うち在宅療養支援病院 2

診療所（内科・外科を標榜） 133

うち在宅療養支援診療所 44

訪問看護事業所 22

訪問リハビリ事業所 16

薬局（訪問薬剤管理指導） 2

### ●介護資源

居宅介護支援事業所 96

介護サービス事業所 841

地域包括支援センター 7

(平成24年12月現在)

医療資源・介護資源共に全国平均を上回っているが、市内中心部に集中

## 医療法人葵会



- 強化型在宅療養支援診療所
- 常勤医5名 ・ 非常勤医2名
- 看護師5名 ・ 事務員3名
- 訪問診療専門のクリニック
- 患者数 約300名

- 在宅医療連携拠点事業所
- 看護師、介護支援専門員1名
- MSW1名 ・ 事務員1名

複数医師を有する  
地方都市型の訪問診療特化型の無床診療所モデル

# 情報共有ツール～在宅医療連携システムゆい～



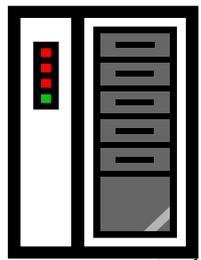
お互いに訪問時に何をしているか知らせあう機能

インターネット上のWEB入力でクリニックにあるサーバーに記録する方式

月間の書き込み数は約 3,000件

クリニック医師から 1,000件

ほかの施設からは 2,000件



記録内容を各連携者へ

WEBサーバーは患者毎の連携者を検索し、それぞれ記録されたものを電子メールで配信する。



ID・PASSで管理されており、自身の連携する患者のメールのみ配信される。

情報の共有の一例 \*実際の画面\* 主治医の書き込みより抜粋

☆VS CHECK☆

血圧...104/70mmHg (88)

体温...36.7℃ SaO2...94%

☆いつもと比較して☆

今朝お腹が痛くて、ロピオン+アタラックスPの点滴をもらった。

☆訪問時は☆

ベッド上にいた。

☆利用者の訴え☆

今朝左のお腹が痛くて大変でした。

☆呼吸☆

喘鳴なし。

☆腹部症状☆

平坦、明らかな圧痛なし。波動あり。

☆痛み☆

オキノム散2.5mgの使用頻度は1日3回ぐらい。

☆検査☆

腹部超音波:胆嚢が腫大、痰泥あり。腹水が出てきている。500-1000ml。胆管の拡張はない。

☆補液☆

ソルデム3A500ml

+プリンペラン1A+バントール(500)1A

+リンデロン(2)1A

+ラシックス1A



左外踝の褥瘡

訪問時に何をしてきたかをメールで配信 レントゲン写真, 画像写真を登録・閲覧  
→ 病状の変化がわかる

# チームもりおかって何ですか？

在宅医療連携拠点事業所  
チームもりおか  
Team Morioka

在宅医療の  
御相談は  
チームもりおかへ

☎ 019(681)7653 (平日9時~16時)  
相談無料

<http://www.mhcclinic.jp/TM/>

## チームもりおかの由来

平成19年、30名ほどの多職種が集まった飲み会で始まり、以降、年間2回の懇親会を続けてきた。

現在では、毎回250名を超える参加者が集まる会になっています。

チームもりおかは、

「盛岡市とその近郊市町村の医療介護に携わる人々の任意団体」

～在宅医療を支える人々のゆるやかなネットワーク～

です。

## 平成23年度チームもりおかの活動

### 平成23年度の重点テーマ

- 「専門職、実務者」集団の確立
- 地域の課題の明確化
- 拠点事業の周知

在宅ケアワーキング委員会 6回  
運営委員会 2回

多職種合同研修会 8回  
参加940人

看護・介護勉強会 24回  
参加351人

行政との意見交換会 1回  
参加30人

### 調査研究

- ・ 病院医療相談室実態調査
- ・ 地域包括支援センター実態調査
- ・ 高齢者対応施設アンケート調査

相談窓口 51件

交流研修 14名

介護職員等によるたん吸引等の実施のための研修  
講師派遣1回 58名養成

## 平成24年度チームもりおかの活動

### 在宅ケアワーキング委員会6回

多職種合同研修会7回

介護職研修会 5回

看護職研修会 5回

総合相談窓口 16件

相互交流研修 19件

盛岡市民のための在宅医療フォーラム 3月2日（土）

盛岡市民のための在宅療養パンフレット作成

地域ケア会議等

「在宅医療の講話」

講師派遣4回

調査研究（共同研究）

日本赤十字看護大学

岩手県立大学看護学部

平成24年度の重点テーマ

- 在宅医療の啓発
- 多職種連携の強化
- 介護職員のスキルアップ

## 岩手県の在宅医療体制構築上の課題

- 慢性的な医療者の不足。震災によるマンパワーの流出。
- 医療資源の偏在。医療機関のない町村がある。県土がひろい。
- **在宅医療の担当課がない。**

## 課題に対する取り組み

- 岩手県保健医療計画策定への協力  
意見交換会への参加（医師5名、県関係課13名、チームもりおか2名）  
担当課職員の現場研修 9名

## 岩手県保健医療計画中間案

- **介護施設等での看取りの充実**
- **在宅医療連携拠点の拡大**  
在宅死亡率14.8%→18.0% 拠点数2か所→9か所
- 県及び市町村において、**在宅医療の相談窓口の明確化**

## 介護職員の教育及び教育を担当する看護職員の育成に係る調査 岩手県立大学看護学部との共同研究

### <背景>

高齢者対応施設においては、利用者の個別ニーズに対応できるスキルが求められているが、対応できていない現状にある。

### <課題>

介護職員の指導・教育にあたるべく看護職員のスキル不足及び精神的負担

### <目的>

拠点事業所が行う訪問支援活動の在り方を探る

### <概要>

有料老人ホームの介護職員に対し、看護職員と年5回の施設内研修会を行う。勉強会開始前後の質問紙及びヒアリング調査により、勉強会効果を明らかにする。

平成24年度は、2事業所で実施 以下、感想など

- 職場の風通しが良くなった（看護）
- 夜勤をするのが怖くなくなった（介護）
- 職場の皆の意見で、緊急時マニュアルを作成することになった

## 在宅医療の啓発

在宅医療の啓発

大切な人を看取る幸せ  
大切な人に看取られる幸せ

平成25年3月2日（土）11:30～16:30  
都南文化会館キャラホール

在宅医療の啓発

在宅療養パンフレット

のぞみちゃんの願い

～あなたの在宅療養を支えるチームもりおか～

医科・歯科・薬科・看護 学生の皆様



在宅医療を  
ご存じですか

～訪問診療体験学習のお知らせ～

超高齢化を迎える中、  
在宅医療は重要な分野になってきます。

もりおか往診クリニックで、  
1日体験学習をしてみませんか。  
(日時:ご希望の1日(平日) 8:00～17:00)  
医療だけでなく、様々なことが学べます。

# チームもりおかの目指すもの



地域に必要な医療を届けられる環境  
予防という観点も共に考えられる  
街づくり・人づくり